

経済問題

問 プレミアム商品券の計画は

答 経済活性化の一助として予算計上



太田伸子議員

【村の経済】

**問** 村内の消費拡大・販売促進を図ることを目的にプレミアム商品券の計画がたてられていると聞きますが、村の対応を伺います。

**村長** 補助金対象事業の概要は、商工会が発行する予定の商品券を通常10枚（1万円）に2枚（2千円）分を追加した単位で販売し、購入者に20%に相当する額をプレミアム（割増券）として提供する計画です。これに伴う商品券販売総額5000万円の20%に相当する1000万円を限度とする補助金と商品券

【観光行政】

**問** 村において観光局・観光農政課・商工会観光部・各地区観光協会の位置づけと村の観光行政のリードについて伺います。

**村長** 各地区の観光協会は、地区の観光が主、商工会は商工会の会員が主、観光局は村と観光事業者から成り、各組織との連携を図っています。観光振興・観光推進は観光局が中心となって実施し、行政は観光局の事業が円滑かつ速やかに展開できるようにバックアップする組織としていますので、リード役は観光局であると理解を願います。

【子育て支援】

**問** 子育ての責任・重圧に対する、若い親たちの心のケア（手当て）をどう考えていますか。

**村長** 親になり子どもを産み育てることは精神的・経済的にも大変な負担になることはよく理解しています。親の行動や心の安定が、

発行に伴う事務経費85万円を補正予算に計上しました。実施主体の商工会では、村内在住者を対象に7月下旬から8月に販売を予定しているそうです。

特産品開発をいかに観光振興に結び付けるかが課題であり、現在、味噌漬物生産組合による加工品の取り組みを実施しています。商工会が「白馬クレーピエ・ガレットフェスタ」等を実施するにあたり、地方の元気再生事業による予算確保を含めた取り組みを行政が行い、事業は商工会が実行します。今までの独自の取り組みからの脱却を図り、行政と各団体との新しい連携に取り組んでいます。



白馬村観光局

子どもの成長に影響を与える

と日々感じています。若い親の教育や心のケアは必要と考